

第61回「市民の皆さんとランチで対話」の概要は、次のとおりでした。

団 体 名	子育て・子育て支援に携わる女性グループ
開 催 日 時	平成26年10月28日（火） 正午～午後1時20分
開 催 場 所	市長応接室
出 席 者	子育て・子育て支援に携わる女性 8人 能代市：市長ほか 6人
案 件	<ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具の設置場所について ・子ども館のトイレについて ・子育て支援について ・児童館について ・子育て支援センターやつどいの広場について ・放課後の子どもの居場所について
会議の概要	<p>（○…子育てサークルなど子育て支援に携わる女性8人 ●…市長 ■…課長等）</p> <p>市長との対話内容</p> <p>○遊具の設置場所はどこか。</p> <p>●子ども館の西側、道路を挟んだ東屋のあるところ。子どもの遊び場がほしい、屋根がついた遊び場がほしい、など色々な意見があったが、一度にはできない。廃校舎の体育館はどうかという意見もあったが、耐震改修に何億もかかる。子ども館と連携した遊び場を作り、市民の理解をいただければ、屋根つき等を考えたい。</p> <p>○トイレがない。</p> <p>●トイレの設置費用はかなり高く、子ども館のトイレを使ってほしい。トイレを作るとなれば億単位となる。</p> <p>○東屋の場所は狭くないか。</p> <p>●私見だが、将来的に子どもの遊び場を広げていく時、場所を確保しておかないといけない。子ども館も利用してほしいということで、この場所となった。将来、「使い勝手が良いからもっと広げたら」といった話が出てきた中で「トイレがないと不便だ」といった話になれば議会に提出できる。</p> <p>■子どもの対象年齢にあった遊具をそれぞれ設置したい。それぞれの年齢に応じて子どもが楽しめる遊具を配置したい。</p> <p>○秋田北部市民サービスセンターのキタスカでは、常時保育士がいて、0歳からでも遊べる。駐車場もある。ワンフロアだが区切りがあり、ベビーベッドも設置されている。能代には室内で遊べるところがない。冬になれば、ゲームセンターしか行く所がない。子ども館では小さい子どもが遊べない。</p> <p>●東屋を残して大きいテントを広げ、そこで遊べるようなことができないかと、検討している。いろんな機能があればいい。とりあえず必要なものを最低限作り、その上でトイレがないと困る、簡易でもいいから屋根がほしい、などのご意見を聞きながら整備していくと思う。</p> <p>○子ども館のトイレは使いづらい、整備してほしい。</p> <p>●遊具とは別に、今回、子ども館のトイレが課題だということが分かった。</p>

【子育て支援について】

- 中学生が、駅前の市民プラザでよく遊んでいる。近くに住む子どもはいいが、他の地域の子どもはここに来られない。他の地域にもあればいい。不登校の子どもたちのフォローについて、そのお母さんも孤立してしまう。当事者同士で愚痴を言い合う機会があればいい。高校中退者へのセーフティネットが必要ではないか。
- 思春期だから、部活だけでなく、ボランティア等、色んな形で地域社会に参加できる仕組みができればと思う。不登校の子は、非常に少ない。先生が保護者とよく連絡をとっている。色んな問題を抱えているが、教育委員会と学校と連携をとりながらサポートしていきたい。高校生の問題については、県と市の垣根があるが、立場をかえて青少年育成だとか、そういう形からアプローチできないか検討したい。実態を調べ、どういうことができるのか、教育委員会と検討したい。

【子育て支援について】

- 子育て支援について、どういうイメージを持っているか。
- 子どもを産んで、育てる時に、能代で良かったねと言ってもらえるような街にしたい。お父さんやお母さんが、この街を好きになる、そういう思いが子どもに伝わっていくことが大事。能代のここは良いが、この部分は足りないなど、指摘してほしい。できることは努力したい。

【大型遊具の設置について】

- アンケートをとり、お母さんたちの声が聞けるような実行委員会などを設置したらどうか。
- 子育て世代は、能代市の中では層が薄い、アンケートになるのか、と思う。数が多いからこれをやるのではなく、市民の代表である議会は皆さんに聞いてやるというのにも必要。皆さんに意見を聞くことがダメということではなく、普段からこういう機会を多くしたら、遊具だけでなく、他のことでも意見を聞ける。
- 雪や吹雪でも室内で遊べ、晴れの日には日陰もほしい。木があったらいいと思う。
- 日陰については話題になっている。丈夫なテントがあり、それで日陰を作れないかなど、色々と考えている。
- 子ども館のトイレに子ども1人で行かせるのは不安。子ども館には裏口もある。
- 子ども館と相談して検討したい。

【子ども館のトイレについて】

- 車や不審者などを考えると子ども館のトイレへ子ども1人で行かせるのは心配。
- 今回は遊具を設置したい、ということでお願いして決まった。できるだけ事業費を抑えたく、トイレは子ども館を利用してもらい、次の段階で考えたいと思う。
- 遊具を整備して管理となると、予算は大丈夫か。
- 耐用年数が約30年。維持管理費についてはそれほどかからない。

【児童館について】

- 子ども館を児童館にしたらどうか。
- 子ども館には宇宙関連の展示物があり、宇宙館という名前はどうか、という意見もある。児童館という意見もある。両方の意見があり、これからの議論になる。

- 街中の公園は、夏になると草が生い茂り、遊具は使用禁止になっている時もある。
- 遊具が古くなり、危なくなってきた。基本的には滑り台、ブランコは作り、他は危ないためできるだけ撤去している。草刈りは手入れが回っていないのかもしれない。遊べないとか危ないとか、草が生えていたら連絡してほしい。パトロールをしているが、分からない所もあると思う。

【子育て支援センターやつどいの広場について】

- 能代の子育て支援センターは、第一保育所の中にあり、送迎時間外は閉められていて、行きづらい。すすく広場の日も年齢によって日程が決まっている。気軽に行って遊び、先生へ相談できる雰囲気になればいいと思う。つどいの広場「ぼけっと」はイオンの中にあり、利便性はいいが、常設でない。常設できる場所を開設してほしい。
- 「ぼけっと」は、イオン側から必要な時は使わせてほしいということで借りている。お母さんたちが買い物する時に利便性の高い所は、なかなか他にはない。常設は課題で、他の場所か、イオンとの話し合いでクリアできるか、検討したい。
- 能代の支援センターは、第一保育所の中にあり、広さを考え、年齢ごとの受け入れになっている。保育所との併設のため、お子様の安全性を考えると仕方ない。支援センターについては、いろいろな要望がある。定休日や日曜日休みということもあり、その辺は検討したい。
- 二ツ井と能代にある支援センターのすすく広場の日程が重なっている。二ツ井は主に火、水曜で、土曜が保育園の解放。能代は水曜で日程が重なっている。また、それぞれの活動場所に互いの情報がない。支援センター同士の連携をとり、どちらでも行けるような形になればいい。
- 情報については、両方に置くようにする。二ツ井と能代の年齢ごとのイベントが重ならないように検討する。

【子育て支援策について】

- これからの子育て世代の環境づくりについて聞きたい。
- 子育てしている方が負担にならない、能代で産み、育てて良かったことが、子どもたちの世代に繋がっていくと思う。そういう子育て支援策をしていきたい。

【放課後の子どもの居場所について】

- 浅内地区に学童保育がない。浅内小学校は、午後5時30分まで無料で見てもらえるが、それ以降は迎えにいかないといけない。学童保育は午後7時まで、夏休み・冬休みも見てくれる。
- 浅内小は放課後子ども教室だと思う。厚労省が学童保育、文科省が放課後子ども教室を行い、国の放課後子ども総合プランでは、両方を積極的に整備していこうとなっている。放課後子ども教室の時間が延ばせるのであれば、ありがたい。
- 子どもの数によって、サービスを受けられない、受けられる、という視点ではない。基準があり、その基準外のことは市が全部負担となる。経費をおさえてやる方法がないのか等、考えたい。

以上でした。

検討事項	<ul style="list-style-type: none">・ 高校生の不登校の実態について・ 子ども館のトイレについて・ つどいの広場「ぼけっと」の常設開設について・ 能代・二ツ井地域の子育て支援センターで行っている「すくすく広場」の日程が重なっていることについて・ 放課後子ども教室の時間延長について
-------------	--